

## 6 特別支援学校

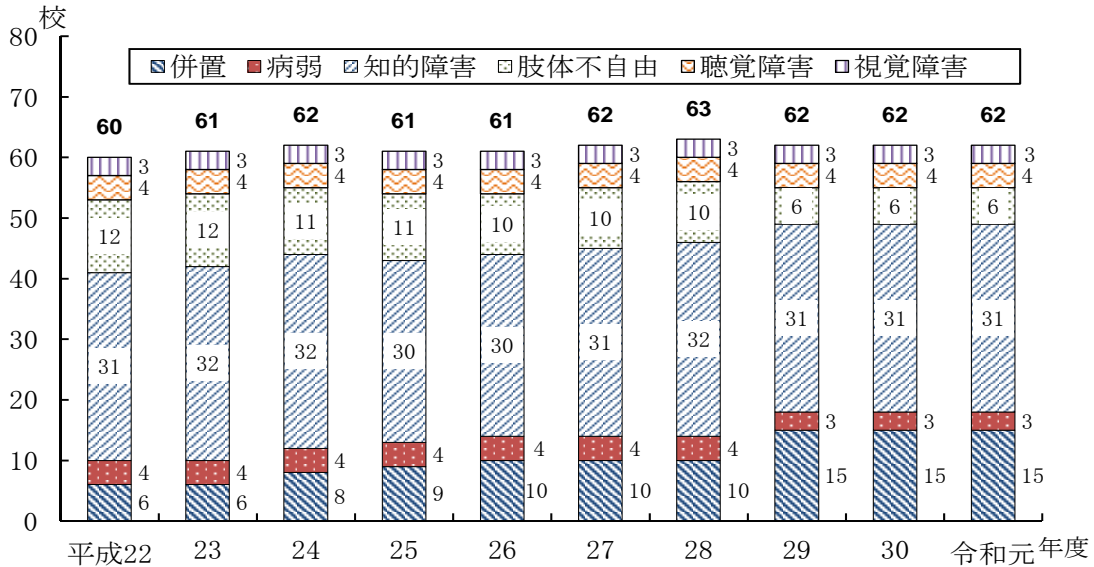
### (1) 学校数

学校数は、62校(都立57校、区立5校)で、前年度と同数である。

学校数のうち障害種別を複数設置している併置校は15校(肢体不自由・知的障害併置校9校、肢体不自由・病弱併置校4校、視覚障害・知的障害併置校1校、知的障害・病弱併置校1校)となっている。

併置校以外の学校数を障害種別で見ると、視覚障害3校、聴覚障害4校、肢体不自由6校、知的障害31校、病弱3校となっている。(P.74第31表)

図27 学校数の推移



注1) 区立5校の障害種別は、肢体不自由1校、知的障害1校、病弱3校となっている。

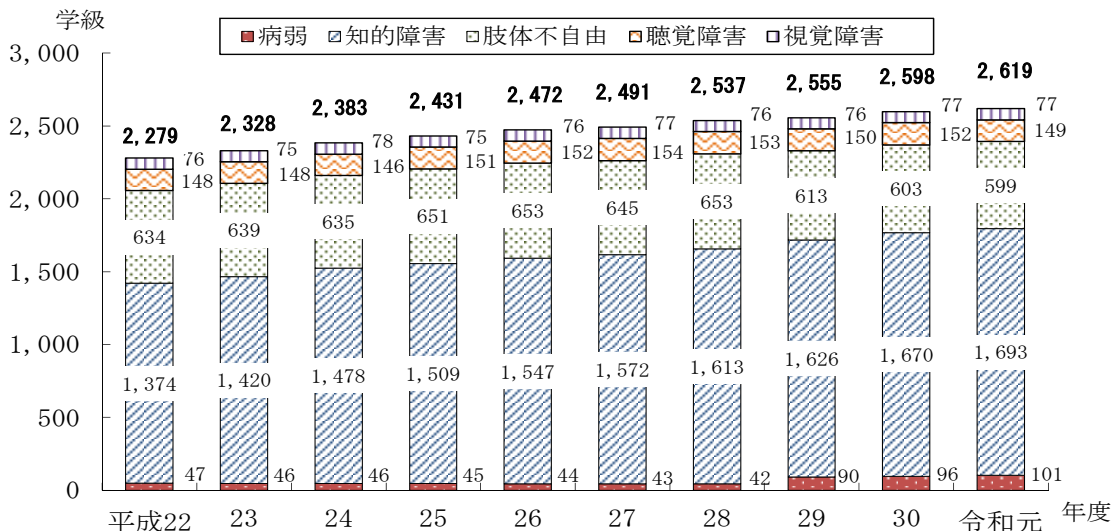
2) 併置校は全て都立である。

### (2) 学級数

学級数は2,619学級で、前年度より21学級増加している。

障害種別で見ると、視覚障害77学級、聴覚障害149学級、肢体不自由599学級(都立583学級、区立16学級)、知的障害1,693学級(都立1,664学級、区立29学級)、病弱101学級(都立90学級、区立11学級)となっている。(P.74第31表)

図28 学級数の推移



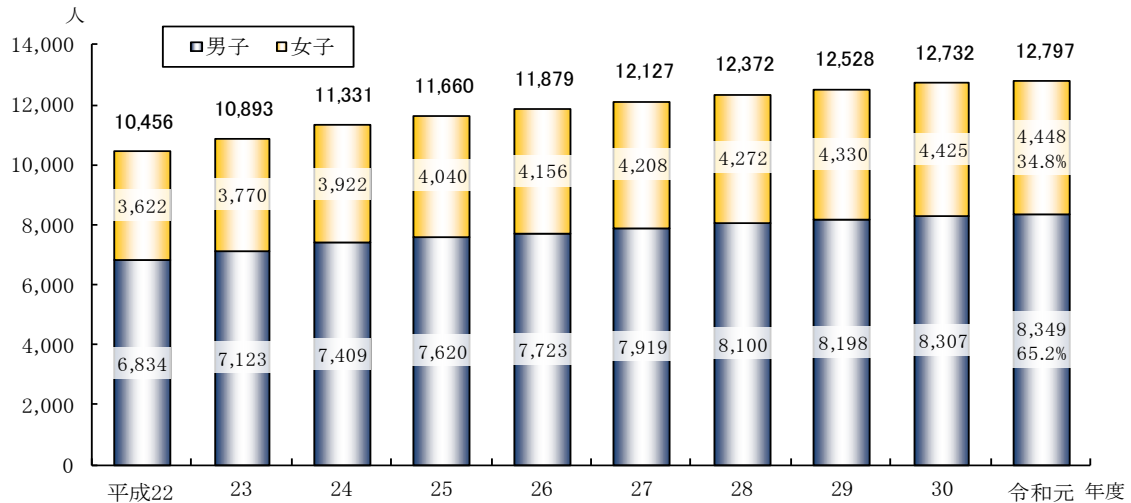
### (3) 在学者数

在学者数は12,797人で、前年度より65人増加している。

障害種別で見ると、視覚障害240人、聴覚障害668人、肢体不自由2,042人(都立1,994人、区立48人)、知的障害9,610人(都立9,479人、区立131人)、病弱237人(都立176人、区立61人)となっている。

男女別で見ると、男子8,349人(構成比65.2%)、女子4,448人(構成比34.8%)で、前年度と比べて、男女ともに構成比は変わらない。(P.74 第31表)

図29 在学者数及び男女別割合の推移



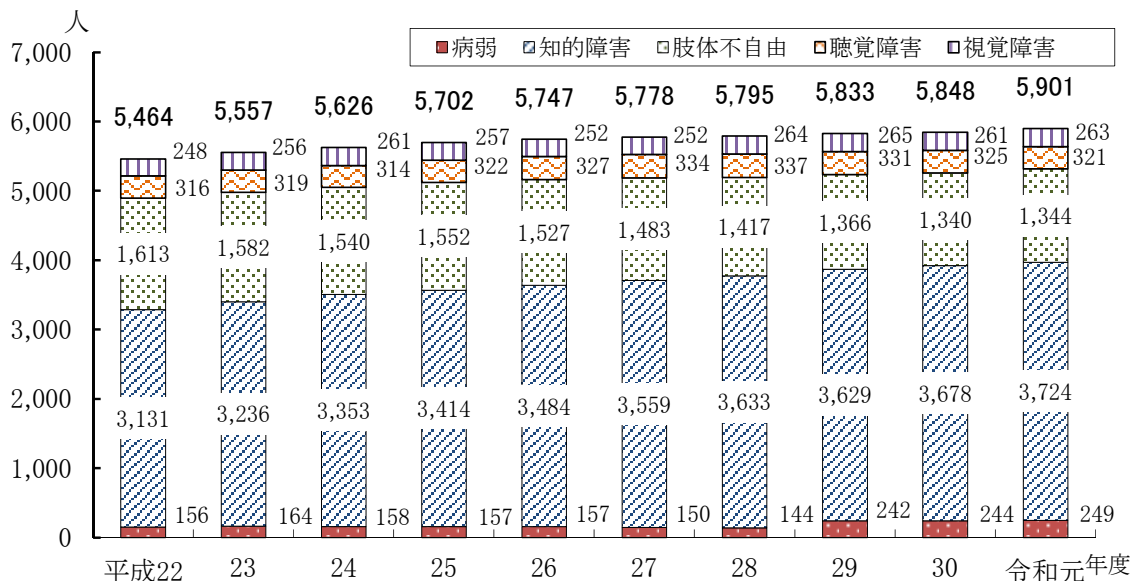
### (4) 教員数

教員数は、5,901人で、前年度より53人増加している。

障害種別で見ると、視覚障害263人、聴覚障害321人、肢体不自由1,344人(都立1,308人、区立36人)、知的障害3,724人(都立3,667人、区立57人)、病弱249人(都立193人、区立56人)となっている。

男女別で見ると、男性2,343人(構成比39.7%)、女性3,558人(構成比60.3%)で、前年度と比べて、男性の構成比が0.1ポイント減少、女性の構成比が0.1ポイント増加している。(P.76 第32表)

図30 教員数の推移



## (5) 職員数

職員数は、540人で、前年度より24人減少している。

障害種別で見ると、視覚障害33人、聴覚障害31人、肢体不自由152人(都立146人、区立6人)、知的障害292人(都立286人、区立6人)、病弱32人(都立10人、区立22人)となっている。

男女別で見ると、男性248人(構成比45.9%)、女性292人(構成比54.1%)となっている。

(P.76 第33表)

図31 職員数の推移

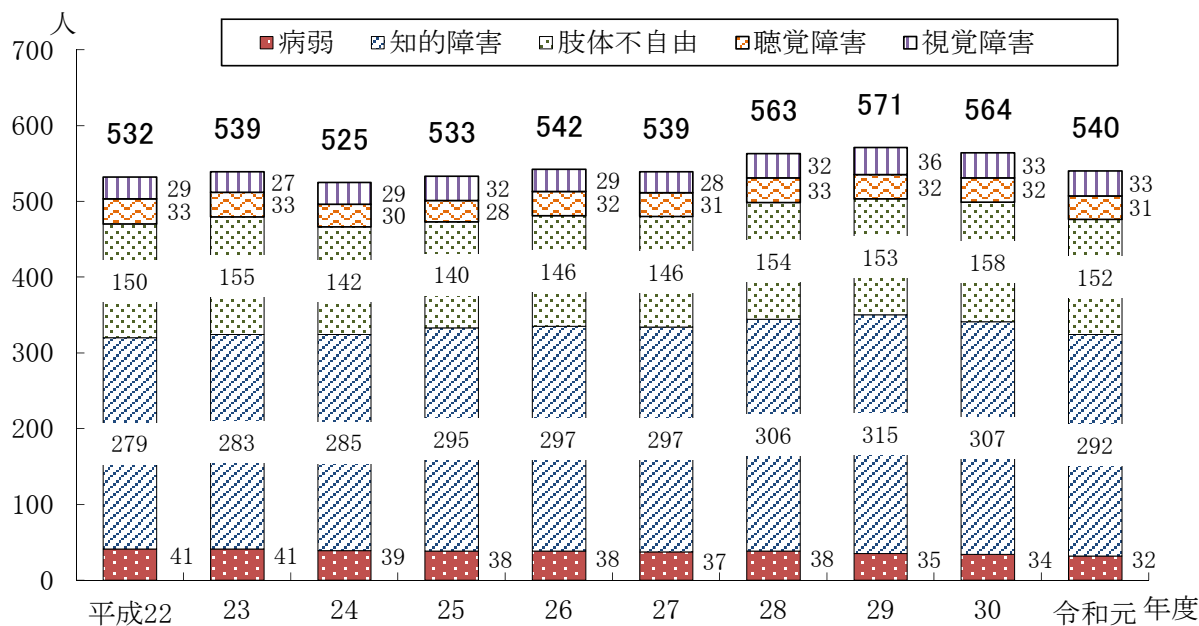


図32 職員の職名別割合

